

広島型 MaaS 推進事業の実施状況について

1 要旨・目的

広島型 MaaS 推進事業における調査事業及び総合事業の実施状況について報告する。

調査事業(MaaS 社会実装計画)
⇒ MaaS の社会実装に向けた調査・研究を行い、地域が主体となった社会実装計画を策定

総合事業(MaaS 実証実験)
⇒ MaaS 社会実装計画に基づく実証実験を行い、県内に展開できる広島型 MaaS モデルを構築

2 現状・背景

中山間地域における公共交通の利便性と持続可能性の双方を高めるため、交通事業者・利用者・受益者（商業施設等）が主体的に連携し、デジタル技術を活用しながら、交通と生活サービスをひとつのサービスとする「広島型 MaaS 推進事業」を、昨年度より開始しており、今回、令和 4 年度の調査事業及び総合事業の実施市町を採択した。

3 事業内容

区分	実施市町	調査・研究の内容
調査事業 〔社会実装計画 の策定〕	尾道市	地域デマンド交通(みつぎ乗合タクシー)を活用した高齢者の外出促進調査 ⇒シルバーリハビリ体操の公民館行事等と連動した配車・予約システム
	北広島町	地域デマンド交通(ホープタクシー)における運行効率化に向けた調査 ⇒商業施設等の生活情報と連動した、乗合タクシー予約・運行システム
	世羅町	交通不便地域における、日常生活の移動手段の確保に向けた調査 ⇒LINE を活用した、地域住民によるボランティア輸送

区分	実施市町	実証実験の内容
総合事業 〔社会実装計画に 基づく実証実験〕	安芸太田町	地域モビリティの全体最適化に向けた実証実験 ⇒モビリティデータに基づく、町内移動手段(定額タクシー等)のベストミックス化
	大崎上島町	陸上交通と海上交通の連携改善に向けた実証実験 ⇒区域型 AI デマンドバスの導入による海上・陸上交通のシームレス化

4 予算額

26 百万円（単県）〔調査事業（1 市町）2 百万円 総合事業（1 市町）10 百万円〕

5 今後の対応

確実な事業実施に向け、引き続き採択市町との連携を図るとともに、外部(有識者)からの評価を踏まえながら事業内容を高めていく。